

調査票(個票②)【派遣要望内容】

資料4-2-3

色付きのセルに入力してください。

a. 要望医療機関名	小山記念病院		担当者	所属 氏名		本部事務局 花香 淳一	連絡先	電話 0299-85-1132	Mail j.hanaka@koyama-hp.jp			
b. 派遣を求める診療科	脳神経外科	R5.4.1時点の医師数(人)	常勤	4	自院での採用(人)	0	杏林大学3、筑波大学1					
			非常勤	12	派遣元の内訳	杏林大学 筑波大学 東京女子医科大学1						
c. 派遣要望人数	常勤	1.0	希望する医師のクラス等 ※該当に○	専攻医クラス	○	派遣医師に求める 資格、技術等	可能であれば、血管内治療のスキルがあることが望ましいです。					
	非常勤	0		専門医クラス	○							
				指導医クラス								
d. 要望の主な目的 ※該当に○	減員補充		具体的な要望理由、 派遣の必要性	血管内治療を提供出来る医師は常勤医1名です。 この医師により、i-⑤の行に記載した全てのカテーテル手術をこなしています。 一次脳卒中センターとして、開頭手術以外の当該手技を24時間365日安定的に提供するためには、医師の補充が急務であると考えます。								
	体制強化											
	拠点形成	○										
	その他											
e. 要望人数の根拠	カテーテル手術実施件数が年間100件程度と増加傾向です。 現在、それらに対応可能な医師は1名であり、夜間や休日を含む体制整備は限界を迎えております。											
f. 専門研修の可否 ※内科・外科はサブスペ領域まで 研修可能な場合にのみ「可」に○	可(基幹施設)		主な連携施設名									
	可(連携施設)	○	基幹施設名	杏林大学医学部付属病院								
	可(関連施設)	○	基幹施設名	筑波大学附属病院								
	不可		今後の予定	プログラムを作成中		備考						
g. 取得可能な資格	日本脳神経外科学会専門医、脳卒中学会専門医、日本脳神経血管内治療学会専門医、神経内視鏡技術認定医											
h. 派遣医師の具体的な業務	日本脳卒中学会 一次脳卒中センターとしての診療業務全般											
i. 医師派遣による効果	前述の通り、血管内治療を担当する医師は1名であり、当該医師が24時間365日対応をしています。 その他の3名はカテーテル手術以外の手技を伴う患者対応に係るホットラインを輪番で担当しており、医師1名あたりにかかる業務負荷が大きい状況です。 医師の増員により、現状を改善し、安定的かつ安全な医療体制確保が実現出来るものと考えます。											
	H30	R元	R2	R3	R4	派遣後の見込	左の根拠					
① 外来患者数	249,624	251,360	233,896	246,215	250,799	250,000	外来患者数に影響がないため					
うち要望診療科関係	18,567	18,273	17,116	18,595	19,225	20,000						
② 入院患者数	58,346	56,902	51,018	53,374	50,300	58,000	ピーク時(平成30年度)に戻る見込み					
うち要望診療科関係	13,279	14,340	9,901	11,684	11,616	13,000						
③ 救急搬送件数	3,104	2,960	2,308	2,785	2,373	3,200	ピーク時(平成30年度)に戻る見込み					
うち要望診療科関係		728	714	699	692	750						
④ 救急お断り件数	476	446	578	634	624	500	要請数の増加と当院の体制強化に伴い、受入数は増加すると思われるが、それに伴って、お断り件数が大きく減少するとは限らないと考えています。					
うち要望診療科関係												
⑤ 手術件数	2,644	2,960	2,738	2,852	2,671	2,800	左記にはカテーテル手術を86件(2022年度)、91件(2021年度)を含みます。					
うち要望診療科関係	236	219	186	268	220	250						
⑥ 医師1人あたり時間外労働時間	不明	不明	不明	40	40	30	24時間365日のホットライン体制を敷いています。(医師4名で輪番)					
うち要望診療科関係	不明	不明	不明	40	40	30						
⑦ ( )												
⑧ その他、診療体制等	・鹿行医療圏には脳卒中の一次対応について、休日夜間を含めた対応をしている医療機関がない。現在の4名体制に1名加わった5名体制となることで、夜間や休日を含む対応が安定化する。											
j. 自院での医師確保の取組状況 ※該当に○	① HPやハローワークへの求人広告掲出						経過・ 現状等					
	② 派遣元大学医局への派遣依頼											
	③ 自院医師等のコネクションを通じた働きかけ											
	④ その他											
k. 看護師等、医師以外の医療従事者の充足状況、増員計画	看護師、薬剤師、臨床工学技士、臨床検査技師、管理栄養士の各職種が各領域で十分な対応を既に実施している。 正看護師198名、助産師24名、看護補助者50名その他、医療技術職員は120名在籍しております。 また、医師事務作業補助者も15名雇用しており、医師の働き方改革やタスクシフトへの取り組みを充実させております。											
l. 手術室、ICU、CT・MRI等のハード設備等の診療環境の現状、今後の整備計画	手術室は5部屋あり、麻酔科常勤医は5名在籍しているため、24時間365日の手術対応が可能である。加算の算定はしていないものの、脳神経外科病棟にはHCUが整備されており、常時重症患者の収容が可能である。 CT装置は2台。MRIは3台完備しており、Angio装置も2台稼働している。											
m. 他の診療科との連携体制	循環器内科や麻酔科等、関係の深い診療科との連携は、時間を問わずシステム化されている。(ホットライン体制の実績により検証済み)											
n. 宿日直許可の取得状況 ※該当に○	取得済		取得日									
	取得予定		取得予定日及び進捗状況									
	取得予定なし	○	理由等	脳神経外科医師による当直体制がないため。								
o. 特定労働管理対象機関の指定予定 ※該当に○	なし(A水準)		○	申請の 準備・進捗状況 ※該当に○及び日付 等を記載 【A水準以外】	【共通】医師の労働時間短縮計画作成		【共通】評価センターの評価受審		【C-1の場合】 時間外等の時間数を記載したプログラム申請			
	特定地域医療提供機関(B水準)				作成済	○	作成日	2023/4/1	申請済		申請日	
	技能向上集中研修機関(C-1水準)				作成中		完成予定 時期		申請 準備中		申請予定 時期	
	特定高度技能研修機関(C-2水準)					申請済		申請日		申請済		申請日
p. 生活環境 ※該当に○	宿舎の有無	専用宿舎(敷地内)		宿舎の月額、 単身/世帯用の別、 入居可能室数等	実質負担なし、単身/世帯用の双方あり		その他の 生活環境 支援  専任の社宅担当者が居るため、 関連するトラブルや手続きは全て当該職員が代行しています。					
		専用宿舎(敷地外)	○									
		借上宿舎										
		住宅手当										
		その他										
なし												
q. 子育て支援 ※該当に○	院内保育所	あり		病児保育体制等 ※該当に○	院内保育所対応		その他の 子育て支 援  子の看護休暇制度あり。 また、小学校から児童保育への移動に係るタクシーを手配しています。					
		系列保育園	○		ベビーシッター等利用料の補助							
		その他			その他							
		なし			なし							
r. その他の福利厚生	・医療費減免制度 ・学会費支給 年2回まで全額補助 ※年3回目から参加費及び、交通費10,000円のみ支給											
s. 派遣医師の待遇(常勤)	役職	資格等	年収	就業時間	当直	オンコール	勤務日数	休日	備考			
t. 派遣医師の待遇(非常勤)	勤務曜日	勤務形態	勤務時間	勤務内容			給与	交通費	備考			
u. 自由記載	・医師全員がタイムカードによる打刻を実施しており、専用のシステムで毎月の業務時間を把握出来る体制を取っております。 業務時間が長い医師に対しては、幹部医師が直接ヒアリングし、問題点の解決に早期に取り組むよう努めています。 ・夜間当直は非常勤医師が90%以上担当する等、常勤医の業務負担軽減に取り組んでいます。 ・救急専門医(常勤)を22年度より採用し、救急初期対応の負担軽減に取り組んでいます。(採用前に比較して、救急医以外が救急搬送の初期対応をする割合が半減した。(22年度4月5月実績)) ・初期研修医、後期研修医に対しては、病院幹部による定期的な面談を実施し、適切な研修へのサポートをしています。											

調査は以上です。御協力ありがとうございました。





調査票(個票②)【派遣要望内容】

資料4-2-3

色付きのセルに入力してください。

a. 要望医療機関名	神栖済生会病院		担当者	所属 氏名	総務課 宮内 隆史	連絡先	電話 0299-97-2111	Mail t-miyauchi@kamisusaisei.jp	
b. 派遣を求める診療科	消化器内科	R5.4.1時点の医師数(人)	常勤	0	自院での採用(人)		派遣元の内訳		
			非常勤	0	大学等からの派遣(人)		派遣元の内訳		
c. 派遣要望人数	常勤	1.0	希望する医師のクラス等 ※該当に○	専攻医クラス		派遣医師に求める 資格、技術等	日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医等		
	非常勤	0		専門医クラス	○				
				指導医クラス					
d. 要望の主な目的 ※該当に○	減員補充		具体的な要望理由、 派遣の必要性	当院では、救急搬送受入に力を入れてきたところ、令和4年の救急受入件数は2,406件となった。更なる受け入れ促進を図るため、救急内視鏡及び緊急手術対応を可能としたいが、現状、消化器内科領域を外科がカバーしている状況であることから消化器内科医の配置が必要。					
	体制強化	○							
	拠点形成								
	その他								
e. 要望人数の根拠	消化器内科医が配置されていないため、常勤1名を要望。								
f. 専門研修の可否 ※内科・外科はサブスペ領域まで 研修可能な場合にのみ「可」に○	可(基幹施設)		主な連携施設名						
	可(連携施設)		基幹施設名						
	可(関連施設)		基幹施設名						
	不可	○	今後の予定	プログラムを作成中		備考			
				指導医を確保・養成中					
				プログラムの作成予定なし		○			
g. 取得可能な資格									
h. 派遣医師の具体的な業務	救急診療、入院診療、外来診療等								
i. 医師派遣による効果	神栖市発生の消化器疾患又はその疑いのある疾患で医療圏外の医療機関に搬送されるケースが年間100件程度あると考えられ、中等・軽症は当院で受け入れる体制を構築したい。また、消化器外科の手術件数(ポリペクは含まず)は増加しており、外来診療や検査、術後管理を消化器内科医が行うことにより、消化器外科の専門性を活かすことが可能となる。								
	H30	R元	R2	R3	R4	派遣後の見込	左の根拠		
①外来患者数	114,065	128,500	117,750	125,230	134,155				
うち要望診療科関係	0	0	0	0	0				
②入院患者数	27,261	31,165	35,632	36,078	33,339				
うち要望診療科関係	0	0	0	0	0		うち要望診療科関係の数値は、当院の統計上内科で集約しているため、内科全体の数値になります。		
③救急搬送件数	1,400	1,517	1,523	1,978	2,346				
うち要望診療科関係	764	801	771	1,144	984		うち要望診療科関係の数値は、当院の統計上内科で集約しているため、内科全体の数値になります。		
④救急お断り件数	551	839	502	506	940				
うち要望診療科関係	214	353	231	342	372				
⑤手術件数	438	564	1,032	1,280	1,395				
うち要望診療科関係	0	0	0	0	0				
⑥医師1人あたり時間外労働時間		13.3	12.6	13.1	14.1				
うち要望診療科関係		0	0	0	0				
⑦( )									
⑧その他、診療体制等									
j. 自院での医師確保の取組状況 ※該当に○	①HPやハローワークへの求人広告掲出			経過・ 現状等					
	②派遣元大学医局への派遣依頼								
	③自院医師等のコネクションを通じた働きかけ								
	④その他								
k. 看護師等、医師以外の医療従事者の 充足状況、増員計画	看護師不足が常態化しているが、令和5年度も10名の看護師を採用した。次年度以降も、年10名程度の看護師採用を決定している状況である。								
l. 手術室、ICU、CT・MRI等のハード設 備等の診療環境の現状、今後の整備 計画	新棟開設に向けて、手術室の拡充を検討しており、クリーンルームや最新の手術機器が整った環境の中で、検査、手術等を行うことが可能となる。消化器疾患については、悪性腫瘍を含めた検査から治療(内視鏡治療、低侵襲手術)まで幅広く診療できるよう超音波内視鏡の設置、自動麻酔器の新規導入等を行うなどして、診療環境整備に努めている。今後も、医師確保に伴って機器整備などの環境整備を進める予定。								
m. 他の診療科との連携体制	消化器外科と連携し、侵襲手術が必要な場合は消化器外科に繋いで手術を行う。その後の経過についても消化器外科医と連携して診療をしていく。								
n. 宿日直許可の取得状況 ※該当に○	取得済		取得日						
	取得予定	○	取得予定日及び進捗状況	令和6年3月31日までに取得予定					
	取得予定なし		理由等						
o. 特定労働管理対象機関の指定予定 ※該当に○	なし(A水準)	○	申請の 準備・進捗状況 ※該当に○及び日付 等を記載 【A水準以外】	【共通】医師の労働時間短縮計画作成		【共通】評価センターの評価受審		【C-1の場合】 時間外等の時間数を記載したプログラム申請 【C-2の場合】 教育研修環境の審査・技能研修計画の審査	
	特定地域医療提供機関(B水準)			作成済	作成日	申請済	申請日	申請済	申請日
	連携型特定地域医療提供機関(連携B水準)			作成中	申請予定 時期	申請準備中	申請予定 時期	申請予定	申請予定 時期
	技能向上集中研修機関(C-1水準)								
	特定高度技能研修機関(C-2水準)								
p. 生活環境 ※該当に○	借上宿舎(敷地内)		借上の月額、 単身/世帯用の別、 入居可能室数等	借上住宅使用料:月額 30,000円(光熱水費込)		その他の 生活環境 支援			
	借上宿舎(敷地外)			入居可能室数:5部屋					
	借上宿舎	○		住宅手当(賃貸の場合):上限65,000円					
	住宅手当	○							
	その他								
	なし								
q. 子育て支援 ※該当に○	院内保育所	○	病児保育体制等 ※該当に○	院内保育所対応		その他の 子育て支 援	育時休業制度(1歳未満の子) 育児短時間勤務制度(小学校入学前まで)		
	系列保育園			ベビーシッター等利用料の補助					
	その他			その他					
	なし			なし					
r. その他の福利厚生	医療費還付制度、慶弔見舞金制度								
s. 派遣医師の待遇(常勤)	役職	資格等	年収	就業時間	当直	オンコール	勤務日数	休日	備考
t. 派遣医師の待遇(非常勤)	勤務曜日	勤務形態	勤務時間	勤務内容		給与	交通費	備考	
	(例)月、水、金	日勤(終日)	9:00~17:00	外来、病棟管理		100,000円/回	別途支給	週2~3日の勤務希望、分割(AM・PM)勤務可	
u. 自由記載									

調査は以上です。御協力ありがとうございました。

調査票(個票③)【派遣要望内容】

資料4-2-3

色付きのセルに入力ください。

a. 要望医療機関名	小山記念病院		担当者	所属 氏名	本部事務局 花巻 淳一	連絡先 電話 0299-85-1132 Mail jhanaka@koyama-hp.jp
b. 派遣を求める診療科	呼吸器内科	R5.4.1時点の医師数(人)	常勤	2	自院での採用(人)	2
			非常勤	0.3	大学等からの派遣(人)	0
					派遣元の内訳	派遣元の内訳
c. 派遣要望人数	常勤	1.0	希望する医師のクラス等 ※該当に○	専攻医クラス ○ 専門医クラス ○ 指導医クラス	派遣医師に求める 資格、技術等	特になし
	非常勤	0				
d. 要望の主な目的 ※該当に○	減員補充		具体的な要望理由、 派遣の必要性	鹿行地域の二次救急病院で常勤の呼吸器内科専門医を擁している医療機関は当院のみです。 当該科を受診する患者は増加しており(後述)、外来・入院診療共に限界に達しています。 当院には救急医の存在はありますが、うち1名は小児科を専攻する女性医師であり、今後もフルタイムでの勤務が見込めない状況です。 従いまして、日曜・夜間のオンコールは医師1名で担っている状況です。		
e. 要望人数の根拠	月間延べ外来患者数:2022年度=平均849名(2021年度=平均810名) 新規入院患者数:2022年度=年間504名(2021年度=506名)※COVID-19対応により、新規入院制限期間あり。 肺炎支援検査実施件数は、2022年度=98件(2021年度=95件)となっています。 がん化学療法件数:2022年度=延べ368件、実人数48名(2021年度=延べ261件、実人数37名)					
f. 専門研修の可否 ※内科・外科はサプスベ領域まで 研修可能な場合にのみ「可」に○	可(基幹施設)		主な連携施設名			
	可(連携施設)		基幹施設名			
	可(関連施設)	○	基幹施設名	筑波大学附属病院		
	不可		今後の予定	プログラムを作成中 指導医を確保・養成中 プログラムの作成予定なし		備考
g. 取得可能な資格	呼吸器内科専門医					
h. 派遣医師の具体的な業務	呼吸器内科診療の全般業務					
i. 医師派遣による効果	前述の通り、治療を担当する医師は2名であり、うち1名はフルタイム勤務ではないため、医師1名が緊急時の対応を24時間365日担当しています。 (医師1名あたりにかかる業務負担が大きい状況です。) 医師の増員により、現状を改善し、安定的かつ安全な医療体制確保が実現出来るものと考えます。					
	H30	R元	R2	R3	R4	派遣後の見込
① 外来患者数	249,624	251,360	233,896	246,215	250,799	250,000
うち要望診療科関係			7,021	9,776	10,195	10,000
② 入院患者数	58,346	56,902	51,018	53,374	50,300	58,000
うち要望診療科関係			5,328	7,327	7,429	7,000
③ 救急搬送件数	3,104	2,960	2,308	2,785	2,373	3,200
うち要望診療科関係						
④ 救急お断り件数	476	446	578	634	624	500
うち要望診療科関係						
⑤ 手術件数	2,644	2,960	2,738	2,852	2,671	2,800
うち要望診療科関係						
⑥ 医師1人あたり時間外労働時間	不明	不明	不明	40	40	30
うち要望診療科関係	不明	不明	不明	60	60	30
⑦( )						
⑧ その他、診療体制等						
j. 自院での医師確保の取組状況 ※該当に○	①HPやハローワークへの求人広告掲載					経過、 現状等
	②派遣元大学医局への派遣依頼					
	③自院医師等のコネクションを通じた働きかけ					
	④その他					
k. 看護師等、医師以外の医療従事者の 充足状況、増員計画	看護師、薬剤師、臨床工学士、臨床検査技師、管理栄養士の各職種が各領域で十分な対応を既に実施している。 正看護師198名、助産師24名、看護補助者50名他、医療技術職員は120名在籍しております。 また、医師事務作業補助者も15名雇用しており、医師の働き方改革やタスクシフトへの取り組みを充実させております。					
l. 手術室、ICU、CT・MRI等のハード設備 等の診療環境の現状、今後の整備 計画	各診療科や部門との連携により、24時間365日の手術対応が可能である。また、各病棟にICUが整備されており、常時重症患者の収容が可能である。 CT撮影装置は2台、MRI撮影装置は3台あり。 睡眠時無呼吸症候群の検査対応もおこなっている。					
m. 他、診療科との連携体制	循環器内科を含む内科系診療科等、関係の深い診療科との連携は、時間を問わずシステム化されている。					
n. 雇日直許可の取得状況 ※該当に○	取得済		取得日			
	取得予定	○	取得予定日及び進捗状況	年内に申請見込み		
	取得予定なし		理由等			
o. 特定労働管理対象機関の指定状況 ※該当に○	なし(A水準)		申請の 準備・進捗状況 ※該当に○及び日付 等を記載 【A水準以外】	【共通】医師の労働時間短縮計画作成	【共通】評価センターの評価受審	【C-1の場合】 時間外等の時間数を記載したプログラム申請 【C-2の場合】 教育研修環境の審査・技能研修計画の審査
	特定地域医療提供機関(B水準)			作成済	○	作成日
	技能向上集中研修機関(C-1水準)			作成中		2023/4/1
	特定高度技能研修機関(C-2水準)			申請済		申請済
				申請中		申請日
				申請予定		申請予定
				申請予定		申請予定
p. 生活環境 ※該当に○	専用宿舎(敷地内)		専用宿舎(敷地外)	○	実質負担なし、単身/世帯用の双方あり	専任の社宅担当者によるため、 関連するトラブルや手続きは全て当該職員が代行しています。
	借上宿舎		住宅手当		その他の 生活環境 支援	
	その他		なし			
q. 子育て支援 ※該当に○	院内保育所	あり	系列保育園	○	院内保育所対応 ベビーシッター等利用料の補助 その他	子の看護休暇制度あり また、小学校から児童保育への移動に係るタクシーを手配しています。
			その他			
			なし			
r. その他の福利厚生	-医療費減免制度 -学費支給 年2回まで全額補助 ※年3回目から参加費及び、交通費10,000円のみ支給					
s. 派遣医師の待遇(常勤)	役職	資格等	年収	就業時間	当直	オンコール
t. 派遣医師の待遇(非常勤)	勤務曜日	勤務形態	勤務時間	勤務内容	給与	交通費
u. 自由記載	-医師全員がタイムカードによる打刻を実施しており、専用のシステムで毎月の業務時間を把握出来る体制を取っております。 業務時間が長い医師に対しては、幹部医師が直接ヒアリングし、問題の解決に早期に取り組みよう努めています。 -夜間当直は非常勤医師が90%以上担当する等、常勤医の業務負担軽減に取り組んでいます。(採用前に比較して、救急医以外が救急搬送の初期対応をする割合が半減した。(22年度4月5月実績)) -救急専門医(常勤)22年度より採用し、救急初期対応の負担軽減に取り組んでいます。(採用前に比較して、救急医以外が救急搬送の初期対応をする割合が半減した。(22年度4月5月実績)) -初期研修医、後期研修医に対しては、病院幹部による定期的な面談を実施し、適切な研修へのサポートをしています。					

調査は以上です。御協力ありがとうございます。

調査票(個票②)【派遣要望内容】

資料4-2-3

色付きのセルに入力してください。

a. 要望医療機関名	白十字総合病院		担当者	所属	事務部	連絡先	電話	0299-92-3311					
			氏名	磯部晃彦		Mail	a-isobe@hakujuji.jp						
b. 派遣を求める診療科	全科(総合診療科)	R5.4.1時点の医師数(人)	常勤	7	自院での採用(人)	7	派遣元の内訳						
			非常勤	1	大学等からの派遣(人)								
c. 派遣要望人数	常勤	1.0	希望する医師のクラス等 ※該当に○		専攻医クラス		派遣医師に求める 資格、技術等						
	非常勤				専門医クラス	○							
					指導医クラス	○							
d. 要望の主な目的 ※該当に○	減員補充		具体的な要望理由、 派遣の必要性	救急搬送要請に対して迅速に対応する事、そして収容率向上が望まれている。ケアミック型の当院には特に高齢患者さんの受診が多く合併症を有する、多様な症例の患者さんである。そのためにも、多様な症例に対応できる総合診療医が加わることで救急部門の充実が図られる。救急部門の指導的役割も期待しており、当院における救急分野の全体的な底上げにつなげたい。 ・当院においては救急搬送依頼に対して、収容件数については現有常勤医また当直については一部大学医局からの応援を受け1334件(H30)と比較し1664件(令和4)と概ね1600件程度の救急車を受け入れている状況であり、収容件数は増大しているが、収容率としては未だ断り件数が多い状況にある。幅広い症例に対応できる救急医として、総合診療科医の派遣を希望する。									
		体制強化								○			
		拠点形成											
		その他											
e. 要望人数の根拠	現在7名の内科常勤医を中心に概ね11名程度の常勤医と週2~3名程度の非常勤医の応援により当直業務を行っている。高齢者の救急が多く、合併症を有しており幅広い症例に対応できる救急医として、総合診療科医の派遣を希望する。												
f. 専門研修の可否 ※内科・外科はサブスペ領域まで研修可能な場合にのみ「可」に○	可(基幹施設)		主な連携施設名										
	可(連携施設)	○	基幹施設名	東京医大茨城・県立中央病院・筑波記念病院・土浦協同病院									
	可(関連施設)		基幹施設名										
	不可		今後の予定	プログラムを作成中			備考						
				指導医を確保・養成中									
				プログラムの作成予定なし									
g. 取得可能な資格	・診療科の専門性とは異なるが、当院では健診部門の充実を図ると共に、専門的産業医養成プログラムを有しており、神栖市においては産業医研修会が行われている。週末を中心に実施の為、当院派遣期間中に受講することも可能である。												
h. 派遣医師の具体的な業務	・総合診療科医師には一般外来業務、入院患者主治医、全科当直また、総合診療科医として内科カンファレンスとはもとより、全科カンファレンスでの意見交換およびアドバイザー的役割も期待している。												
i. 医師派遣による効果	・救急車収容率の向上について、医師派遣により日勤、夜勤帯とも収容率はさらに向上し鹿行地域住民また救急隊にとっても恩恵がある。 ・今般の派遣要請の最大の目的が救急車収容率の向上である。d「要望理由」で記した状況に対し総合診療科医の派遣による救急搬送受け入れの拡大ができてと考えている。救急要請不応需の主たる要因は医師体制不足と専門外疾患のためであり、医師派遣によりこうした状況の改善が図れるものと考えている。												
		H30	R元	R2	R3	R4	派遣後の見込	左の根拠					
①外来患者数	161,801	156,245	136,408	132,776	133,233	138,000	要望診療科欄は内科患者数を採用。救急対応を中心に従事のため大幅な患者数増は見込まず。						
うち要望診療科関係	48,178	47,220	41,903	41,069	42,114	45,000	要望診療科欄は内科患者数を採用。内科常勤医師7名、1名あたり8,300人(回復期病棟を含む)。救急対応を中心に従事の為、50%程度を見込む。						
②入院患者数	83,524	88,888	83,085	80,181	78,792	84,500	要望診療科欄は内科患者数を採用。内科常勤医師7名、1名あたり8,300人(回復期病棟を含む)。救急対応を中心に従事の為、50%程度を見込む。						
うち要望診療科関係	57,488	59,797	58,540	58,077	57,869	62,500	要望診療科: DPCデータ「疾患別患者数」の内科疾患の患者数割合を③救急搬送件数に掛けて算出(R4年度ベース)						
③救急搬送件数	1,334	1,414	1,635	1,533	1,664	2,000	④要望診療科のうち、200件程度の受け入れが可能となる見込み						
うち要望診療科関係	242	248	287	274	252	450	要望診療科: ③救急搬送件数の要望診療科割合を④お断り件数に乘じ(過去5年平均)、③の増減見込み分程度を目安として差し引いて算出						
④救急お断り件数	1,058	1,004	694	1,038	1,893	950							
うち要望診療科関係	192	175	122	185	287	100							
⑤手術件数	741	877	690	599	545								
うち要望診療科関係													
⑥医師1人あたり時間外労働時間	32	32	32	32	32	30							
うち要望診療科関係	32	32	32	32	32	30							
⑦( )													
⑧その他、診療体制等	高齢者の救急が年々増加しており、合併症を有しており幅広い症例に対応できる救急医として加わっていただくことは救急医療体制の充実につながる。												
j. 自院での医師確保の取組状況 ※該当に○	①HPやハローワークへの求人広告掲出			経過・ 現状等									
	②派遣元大学医局への派遣依頼												
	③自院医師等のコネクションを通じた働きかけ												
	④その他												
k. 看護師等、医師以外の医療従事者の充足状況、増員計画													
l. 手術室、ICU、CT・MRI等のハード設備等の診療環境の現状、今後の整備計画	手術室整備(バイオクリーンルームあり・専従スタッフあり)。CT(64列)。MRI(1.5T)。内視鏡検査室、透視検査室あり(専従スタッフあり)												
m. 他の診療科との連携体制	全診療科の医師がワンフロアの医局にいますので、他科の医師と話す機会も多く、診療科間の垣根も低く、困っている症例の相談やコンサルが気軽にできる環境。一例として、整形外科入院患者については内科医の併診を原則としている。(整形外科・常勤医1名のため)												
n. 宿日直許可の取得状況 ※該当に○	取得済		取得日										
	取得予定	○	取得予定日及び進捗状況	管轄労基署と協議継続中									
	取得予定なし		理由等										
o. 特定労働管理対象機関の指定予定 ※該当に○	なし(A水準)		○	申請の 準備・進捗状況 ※該当に○及び日付等を記載 【A水準以外】	【共通】医師の労働時間短縮計画作成		【共通】評価センターの評価受審		【C-1の場合】 時間外等の時間数を記載したプログラム申請 【C-2の場合】 教育研修環境の審査・技能研修計画の審査				
	特定地域医療提供機関(B水準)				作成済		作成日			申請済		申請日	
	連携型特定地域医療提供機関(連携B水準)				作成中		完成予定 時期			申請 準備中		申請予定 時期	
	技能向上集中研修機関(C-1水準)												
	特定高度技能研修機関(C-2水準)												
p. 生活環境 ※該当に○	宿舎の有無	専用宿舎(敷地内)	○	宿舎の月額、 単身/世帯用の別、 入居可能室数 等	無料・単身/世帯とも可		その他の 生活環境 支援		時短勤務可 当直等への配慮				
		専用宿舎(敷地外)											
		借上宿舎											
		住宅手当	○										
		その他											
なし													
q. 子育て支援 ※該当に○	院内保育所	あり		病児保育体制等 ※該当に○	院内保育所対応		その他の 子育て支援		時短勤務可 当直等への配慮				
		系列保育園	○		ベビーシッター等利用料の補助 ○								
		その他			その他								
		なし			なし								
r. その他の福利厚生	医療費返還/療養休暇制度/職員食堂あり。女性医師が安心して勤務できるように休憩室、更衣室、シャワー室、当直室の整備あり。												
s. 派遣医師の待遇(常勤)	役職	資格等	年収	就業時間	当直	オンコール	勤務日数	休日	備考				
t. 派遣医師の待遇(非常勤)	勤務曜日	勤務形態	勤務時間	勤務内容			給与	交通費	備考				
u. 自由記載	R4度より院内に産業医トレーニングセンターを設置。産業医(産業衛生専門医)と密に情報交換が可能。よって地域の産業保健に早期に介入ができるので労働者の健康維持にも役立つ。社会医学系専門医プログラム基幹施設。研修医在籍。												

調査は以上です。御協力ありがとうございました。

調査票(個票②)【派遣要望内容】

資料4-2-3

色付きのセルに入力してください。

a. 要望医療機関名	神栖済生会病院		担当者	所属 氏名	総務課 宮内 隆史	連絡先	電話 0299-97-2111	Mail t-miyauchi@kamisusaisei.jp		
b. 派遣を求める診療科	呼吸器内科	R5.4.1時点の医師数(人)	常勤 0	自院での採用(人) 大学等からの派遣(人)		派遣元の内訳	筑波大学、日本医科大学			
			非常勤 0.5	派遣元の内訳		筑波大学 0.3、日本医科大学 0.2				
c. 派遣要望人数	常勤 1.0	希望する医師のクラス等 ※該当に○	専攻医クラス ○	派遣医師に求める 資格、技術等		日本呼吸器学会専門医 等				
	非常勤 0		専門医クラス ○							
			指導医クラス							
d. 要望の主な目的 ※該当に○	減員補充 ○	具体的な要望理由、 派遣の必要性	体制強化	呼吸器内科は患者の多い診療領域であり、医療圏内の地理的状況を踏まえ、他病院と役割分担と相互補完を行いながら救急患者の受入を図っていく必要がある。また、救急対応の充実、感染症の流行や鹿児島コンビナートに隣接することによる呼吸器に係る労働災害への対応が不可欠であり、気管支鏡等を使用した検査及び治療など、呼吸器内科医の配置が必要。						
	拠点形成									
	その他									
e. 要望人数の根拠	現状、非常勤2人(常勤換算0.5人)で対応となっているため、呼吸器内科の主となる常勤1名を要望。									
f. 専門研修の可否 ※内科・外科はサブスペ領域まで 研修可能な場合にのみ「可」に○	可(基幹施設)	主な連携施設名								
	可(連携施設)	基幹施設名								
	可(関連施設)	基幹施設名								
	不可	○	今後の予定	プログラムを作成中		備考				
				指導医を確保・養成中						
				プログラムの作成予定なし	○					
g. 取得可能な資格										
h. 派遣医師の具体的な業務	救急診療、入院診療、外来診療 等									
i. 医師派遣による効果	神栖市発生の呼吸器疾患又はその疑いのある疾患で医療圏外の医療機関に搬送されるケースが年間50件以上あり、医療圏内であっても搬送に時間を要しているケースが多数発生していることから、中等・軽症は当院で受け入れる体制を構築したい。また、統合前には、がん診療や化学療法を提供していた経緯があり、それを復活したい。									
	H30	R元	R2	R3	R4	派遣後の見込	左の根拠			
①外来患者数	114,065	128,500	117,750	125,230	134,155					
うち要望診療科関係	3,830	2,654	2,277	2,232	2,143					
②入院患者数	27,261	31,165	35,632	36,078	33,339					
うち要望診療科関係	736	0	0	0	0		うち要望診療科関係の数値は、当院の統計上内科で集約しているため、内科全体の数値になります。			
③救急搬送件数	1,400	1,517	1,523	1,978	2,346					
うち要望診療科関係	764	801	771	1,144	984		うち要望診療科関係の数値は、当院の統計上内科で集約しているため、内科全体の数値になります。			
④救急お断り件数	551	839	502	506	940					
うち要望診療科関係	214	353	231	342	372					
⑤手術件数	438	564	1,032	1,280	1,395					
うち要望診療科関係	0	0	0	0	0					
⑥医師1人あたり時間外労働時間		13.3	12.6	13.1	14.1					
うち要望診療科関係		0	0	0	0					
⑦( )										
⑧その他、診療体制等										
j. 自院での医師確保の取組状況 ※該当に○	①HPやハローワークへの求人広告掲出		経過・ 現状等							
	②派遣元大学医局への派遣依頼									
	③自院医師等のコネクションを通じた働きかけ									
	④その他									
k. 看護師等、医師以外の医療従事者の 充足状況、増員計画	看護師不足が常態化しているが、令和5年度も10名の看護師を採用した。次年度以降も、年10名程度の看護師採用を決定している状況である。									
l. 手術室、ICU、CT・MRI等のハード設 備等の診療環境の現状、今後の整備 計画	新棟開設に向けて、手術室の拡充を検討しており、クリーンルームや最新の手術機器が整った環境の中で、検査、手術等を行うことが可能となる。医療機器については、更新や新規導入等を行うなどして、診療環境整備に努めている。今後も、医師確保に伴って機器整備などの環境整備を進める予定。									
m. 他の診療科との連携体制										
n. 宿日直許可の取得状況 ※該当に○	取得済	取得日								
	取得予定	○	取得予定日及び進捗状況	令和6年3月31日までに取得予定						
	取得予定なし		理由等							
o. 特定労働管理対象機関の指定予定 ※該当に○	なし(A水準)	○	申請の 準備・進捗状況 ※該当に○及び日付 等を記載 【A水準以外】	【共通】医師の労働時間短縮計画作成		【共通】評価センターの評価受審		【C-1の場合】 時間外等の時間数を記載したプログラム申請 【C-2の場合】 教育研修環境の審査・技能研修計画の審査		
	特定地域医療提供機関(B水準)			作成済	作成日	申請済	申請日	申請済	申請日	
	連携型特定地域医療提供機関(連携B水準)			作成中	申請予定 時期	申請 準備中	申請予定 時期	申請予定	申請予定 時期	
	技能向上集中研修機関(C-1水準)									
	特定高度技能研修機関(C-2水準)									
p. 生活環境 ※該当に○	借上宿舎(敷地内)		借上の月額、 単身/世帯用の別、 入居可能室数 等	借上住宅使用料:月額 30,000円(光熱水費込)		その他の 生活環境 支援				
	借上宿舎(敷地外)			入居可能室数:5部屋						
	借上宿舎	○		住宅手当(賃貸の場合):上限65,000円						
	住宅手当	○								
	その他									
	なし									
q. 子育て支援 ※該当に○	院内保育所	○	病児保育体制等 ※該当に○	院内保育所対応		その他の 子育て支 援	育時休業制度(1歳未満の子) 育児短時間勤務制度(小学校入学前まで)			
	系列保育園			ベビーシッター等利用料の補助						
	その他			その他						
	なし			なし						
r. その他の福利厚生	医療費還付制度、慶弔見舞金制度									
s. 派遣医師の待遇(常勤)	役職	資格等	年収	就業時間	当直	オンコール	勤務日数	休日	備考	
t. 派遣医師の待遇(非常勤)	勤務曜日	勤務形態	勤務時間	勤務内容		給与	交通費	備考		
u. 自由記載										

調査は以上です。御協力ありがとうございました。